

第七回 はちのへ演劇祭「水底の柩」

八戸の若者たちによる劇団、イージーシアター我楽多屋が1996年に上演した作品を
当時出演していた鈴木利典(劇団扉座)さんの脚色・演出で、懐かしくも新しい作品として上演します



〈出演〉

秋山 東紀子	澤田 馨樹
居舘 聡子	出貝 綸規
江刺家 佐智子	中村 凧沙
笠井 崇賢	沼山 華子
熊谷 香凜	野沢 亜由美
高坂 大誠	長谷川 華
桜田 克海	花澤 紫穂
佐々木 陽菜乃	宮古 真裕香
澤田 幸優	

(50音順)

佐藤 拓之

(フォーチュンシアター)

【プロフィール】

1993年より劇団「双数姉妹」に所属。
2012年まで主メンバーとして活躍。主
な客演は野田地図、ナイロン100℃、カム
カムミニキーナ、猫のホテルなど。2014年
から2年間「山の手事情社」に参加。現在
様々な舞台に出演、活躍中。

時津 真人

(北区AKT STAGE)

【プロフィール】

2006年、北区つかこうへい劇団に入団。
以来、「蒲田行進曲」「ロマンス」「熱海殺
人事件」など数々のつかこうへい作品に
出演。主な客演は「女ねずみ小僧」、「天守
物語」など。
2017年北区AKT STAGE代表に就任。

脚本・脚色・演出 **鈴木 利典**

水野孝一 40歳。

作家として大成する夢を捨て、支えてくれた妻の為に
働く事を決めてから早五年。

平和な日常。変わらない日常。

ある日、怪しい相談所に迷い込んだ事から、
彼の中に眠る物語がまた動き始める。
サーカスの一団が舞い踊る幻想的な世界。
その一団が滞在している街のお祭りでは、
最終日に仮面を川に流すという風習がある。

抱えた想いを仮面に移して水底へ沈める。
仮面は想いの柩となり、水の底で眠る。

果たして水野の抱えた想いととは。

22年の時を経て新しく命を吹き込まれた、
八戸が生んだ名作「水底の柩」。

八戸の演劇界の未来を担う原石たちによって、
どう生まれ変わるか、是非ご覧ください。

【プロフィール】

八戸市出身 東京在住。八戸高校演劇部に在籍。卒業後、扉座研究所を経て扉座入団。以来、主な
扉座公演に出演する他、多くの外部舞台に出演するなど活躍中。1996年の「水底の柩」に出演。今
回の上演では脚本・脚色・演出として参加。

【主な出演歴】

〈扉座公演〉『アゲイン～怪人二十面相の優しい夜～』『まほうつかいのでし』『ハムレット』他多数

【外部舞台】

銀座セゾン劇場公演『リボンの騎士』2001都民芸術フェスティバル『渥美清子の青春』他多数

〈スタッフ〉

演出補・脚色協力/仲坪 由紀子

照明・音響/サウンドクリエイト・はっち舞台スタッフ

振付/anna 振付助手/嶋崎 綾乃

衣裳/橋本 ふさ子・下野 けい子・中村 ひろ子

舞台監督/安達 良春

制作/柏井 容子・信田 樹乃

演出補 **仲坪 由紀子**

【プロフィール】

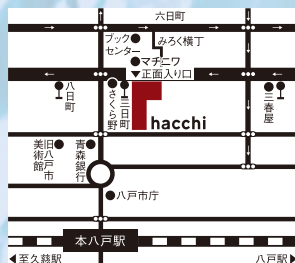
南部町出身 東京在住。俳優、ダンサー。八戸市では 脚本家、演出家、振付家として【酔っ払いに愛
を 横丁オンリーシアター】《昭和歌謡コント「好きになったひと」》、第五回はちのへ演劇祭
半朗読劇《てくてく》、「フォーチュンシアター」《メロディー》などを手掛け 活躍は多岐に渡る。昨
年12月の 風煉ダンス《まつろわぬ民2018》への出演の記憶が新しい。

【会場】

八戸ポータルミュージアム はっち 2階 シアター2

〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1
☎0178-22-8228

- ▶〈鉄道〉八戸駅からJR八戸線「本八戸駅」下車
本八戸駅南口から徒歩約10分
- ▶〈バス〉八戸駅東口から八戸市中心街方面行き約25分
「八戸中心街ターミナル(八日町)」下車すぐ
- ▶〈車〉八戸駅から約20分
※周辺の有料駐車場をご利用ください



【チケット取り扱い】

●八戸ポータルミュージアム はっち インフォメーション

●ネット予約・購入

<http://www.spaceben.com/8geki-plan.html>

のページ内に申し込みリンクがあります

- ※全席自由
- ※ネット予約の方は、当日受付で前売り料金をお支払い
いただきます
- ※学生・生徒は、入場時に必ず学生証をご提示願います

